

国立大学法人 豊橋技術科学大学「社会人向け実践教育プログラム」
文部科学省 職業実践力育成プログラム（BP）認定
2022年度 豊橋市 補助事業

「IT食農先導士養成プログラム（最先端土地利用型IT農業コース）」
2022年度第7期生募集要項

豊橋技術科学大学は、愛知県、豊橋市、田原市などの地域自治体や地元企業と連携して、豊橋技術科学大学「社会人向け実践教育プログラム」、豊橋市補助事業において「IT食農先導士養成プログラム（最先端土地利用型IT農業コース）」を実施しており、文部科学省の職業実践力育成プログラム(BP)に認定されています。

愛知県東部の東三河地域は、国内有数の先進的農業地帯ですが、近年の輸入農産物の拡大、光熱費の高騰、高齢化等により農業生産額が低迷しています。豊橋技術科学大学では、光制御技術・センサー関連技術・植物生体情報計測技術などの工学的知識と農業技術が習得できる人材育成プログラムを開発し、『IT食農先導士』を養成しています。これによって競争力のある攻めの農業を展開し、基幹産業である食農産業を活性化して、地域再生を図ります。

そこで、2022年度「IT食農先導士養成プログラム（最先端土地利用型IT農業コース）」の受講生を以下の要領で募集します。

1. 募集人員 : 5名
2. 受講期間 : 2022年12月3日 ~ 2024年3月
3. 受講場所 : 国立大学法人豊橋技術科学大学 他
(オンライン講義の場合もあり)

4. 人材育成内容

豊橋技術科学大学等において、これまでに蓄積された技術科学的な成果を踏まえて、IT（ICT）を農業に導入するための講義、実習を行い、将来地域の担い手となりうる若者等が定着可能な土地利用型農業の管理、経営ができるIT農業人材を育成します。

先端基礎農学特論、IT農業管理学特論、IT農業経営管理学特論、課題解決技術科学研究、国内先端IT農業研修を履修・修得した方に豊橋技術科学大学から『IT食農先導士』の称号が授与され、履修証明書が交付されます。

受講生は、先端基礎農学特論、IT農業管理学特論およびIT農業経営管理学特論を教室・オンライン講義またはeラーニングによって履修します。先端IT農業研修は、国内の先端的土地利用型農業を現地視察します。また、課題解決技術科学研究では、豊橋技術科学大学内または生産者圃場等において週1日程度の調査研究を行い、実際の営農場面に役立つ新技術開発に関する調査研究論文を取りまとめ、地域の学会およびシンポジウムなどで広く発表していただきます。

「IT食農先導士養成プログラム（最先端土地利用型IT農業コース）」受講生には、豊橋技術科学大学IT農業サポートセンターを通じて、最新のIT情報と農業情報が提供され、IT農業ネットワークを形成しながら地域の中核農業者となる道が開かれます。また、愛知県や豊橋市等の地域自治体、JAあいち経済連、食農関連企業および、地元企業などと連携した活動の支援を受けることができ、農商工連携、農業の6次産業化のノウハウを得ることも可能です。

※なお、既に「IT食農先導士養成プログラム」や「最先端植物工場マネージャー育成プログラム」を受講された方は修了後、修了証および履修証明書の授与となります。

5. 受講資格

- (1) 高等学校卒業程度の学力を有する者
(本学において、同等以上の学力があると認めた者を含む)
- (2) 心身ともに健康で、食農産業の振興に強い関心を持つ者
- (3) パソコン等を所有し、使いこなすことができ、自宅でインターネットへの接続ができる者
- (4) 週1日程度の調査研究に従事できる者
- (5) 国内の先端IT農業研修（実費個人負担）等に積極的に参加できる者

6. 授業時数 383.5時間

- (1) 教室・オンライン講義 11科目 78.5時間
- (2) e-ラーニング 9科目 95時間
- (3) 先端IT農業研修 30時間〔国内5回（主として東海地域）〕
- (4) 課題解決技術科学研究 180時間

7. 受講料

- (1) 15万円
ただし、下記に掲げる者は、それぞれ各項目に定める額とします。
 - A) 豊橋市または田原市在住・在勤者・・・5万円
 - B) 先端農業・バイオリサーチセンター実施の社会人向け人材育成事業の協賛自治体・企業(*1)からの推薦者・・・5万円
 - C) 農林水産業従事者およびJAまたは農業経営を行う法人に所属する者、新たに農業経営を始めようとする者(*2)・・・8万円

その他、先端施設研修時の昼食等、別途実費負担いただくことがあります。

(*1) 協賛自治体・企業

- ・ 豊橋市
- ・ 田原市
- ・ (株)サーラコーポレーション
- ・ (株)大仙
- ・ 豊橋信用金庫

(企業は五十音順)

(*2) 認定新規就農者として自治体から認定を受けている者、農業者等で新規就農のための研修を受けている者等

(2) 納入期限

受講料は、講義開始前日までの本大学が指定する期限までにお振り込みください（振込手数料は、受講者の負担となります）。

(3) 受講料の返還

納入された受講料は、原則返還いたしません。

(4) 教育訓練給付金について

この講座は、厚生労働省指定の「専門実践教育訓練給付金」制度に該当します。この制度を利用するには、講座開始日の1か月前までにハローワークへ申請が必要です（詳しくは、豊橋技術科学大学 研究推進・社会連携課 社会連携係 電話0532（44）6574、またはお住まいの地域のハローワークまでお問合せください）。また、下記Webサイトもご参照ください。

https://www.hellowork.mhlw.go.jp/insurance/insurance_education.html

8. 応募書類

応募書類の書式は、下記URLからダウンロードしてください。

<http://www.recab.tut.ac.jp/contents/itagri/entry.html>

(1) 様式1「志願書」

(2) 様式2「履歴書」

(3) 様式3「志望動機」 【1,000字程度】

(4) 様式4「小論文」 【1,000字程度】

(5) 大項目7 受講料のただし書きに該当する場合は、それを明らかにできる書面

1) 運転免許証など住所が確認できる身分証の写しや健康保険証・社員証など在職を確認できるもの（豊橋・田原在勤者）の写し

2) 協賛自治体・企業の推薦状（別紙様式参照）

3) 農地台帳・組合員証・健康保険証・社員証などの写し、研修先の推薦状など

※提出された応募書類は返却いたしません。

※（5）の提出がない場合、受講料は15万円となります。

9. 出願期間 : 2022年7月4日（月）～ 8月19日（金）必着

10. 選考方法 : 書類審査により選考を行い、場合により面接を行うことがあります。

※選考結果は、合否にかかわらず10月7日（金）までに書面でお知らせします。

11. 応募書類の作成要領

応募書類は、志願書、履歴書、志望動機および小論文が必要です。以下の各項を参照の上パソコンで作成してください。

(1) 志願書（様式1）

様式1に記載されている全ての欄に記入の上、氏名欄は必ず自署してください。

(2) 履歴書（様式2）

写真欄には、上半身・無帽・正面向き・背景無地のもので志願前6か月以内に撮影した写真（縦4cm×横3cm）を貼付してください。

(3) 志望動機（様式3）

本プログラムを受講するにあたり、志願者本人の志望動機をA4判1枚（1,000字程度、文字サイズ12pt、明朝体）で作成してください。

(4) 小論文（様式4）

『IT農業および食農産業に関する考え方』というテーマで小論文をA4判1枚（1,000字程度、文字サイズ12pt、明朝体）で作成してください。

12. 応募書類の提出・問い合わせ先

応募書類は封筒に入れ、『IT食農先導士養成プログラム受講希望』と朱書し、下記の提出先に簡易書留で郵送してください。

提出先・問い合わせ先：

〒441-8580

豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1

国立大学法人 豊橋技術科学大学

技術科学イノベーション研究機構 先端農業・バイオリサーチセンター

IT食農先導士養成プログラム担当係

電話：0532(44)6655

E-mail：sendoshi@recab.tut.ac.jp

◆ 詳細はWebサイト（<http://www.recab.tut.ac.jp/>）に記載しています。

※個人情報の取扱いについて

志願時にお知らせいただいた氏名、住所等の個人情報については、本事業の実施に必要な範囲にのみ利用し、他の目的には使用いたしません。

（注意）講師、会場またはその他の都合により、日程、講義方法の変更や、場合によってはプログラムを中止することがあります。